
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第55号（通巻第122号）

2007年2月22日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

「これからの教育課程をさぐる」～第16回教育フォーラムのご報告～

山梨大学教育人間科学部主催、第16回教育フォーラムが2月4日（日）M-12教室において開催されました。小中学校の先生方や大学生を中心に約60人が参加し、「これからの教育課程をさぐる」～学習指導要領改訂をめぐる～をテーマにともに考えました。

シンポジストとして、文部科学省中央教育審議会の教科専門部会委員を務めている本学の3人の先生方、国語教育講座の宮澤正明教授（国語専門部会委員）、数学教育講座の中村享史教授、生涯学習講座の中村和彦助教授を招きました。

はじめに、司会の山本紘典客員教授（附属教育実践総合センター）から、中教審教育課程部会の審議経過報告について概要が話されました。そして、3人の先生方から、それぞれの教科についての現状と課題や改善の方向性について各部会の審議の様子も踏まえて、分かりやすいお話をいただきました。その後、参加者からの質問紙をもとにした質疑応答があり、共通のキーワード「言葉と体験」に関わって最後には各先生方の教育にかける思いを伝えていただきました。「先生方の熱心なお話に引き込まれてしまいました。最新の情報を聞くことができ有意義でした」どの教科でも教育の目指すべき方向は同じであるということを確認しました。「次回の学習指導要領改訂に関する見方（視点）がわかってよかった」教育に携わる者、子どもたちと日々向き合う者としての責任を改めて感じました。先生方の熱意をもって語られる姿に、深く感じる思いがありました。今日感じた思いを明日からに、また生かしていこうと思います」といった感想を聞くことができました。



第6回地域貢献教育学研究会のご報告

2月6日（火）、県総合教育センターにおいて、第6回地域貢献教育学研究会を開催しました。2月27日（火）から始まる集中講義「授業研究実践論D」の実施に向けて、それぞれの講師の先

生方の授業内容の紹介、題目の検討、及び評価内容や方法の検討を行いました。また、授業に向けての時間の確認や資料、機器の準備といった具体的な進め方の検討も行いました。先生方の授業に臨む熱い思いや授業方法の様々な工夫等についてもお聞きすることができ、当日の授業への期待が高まりました。

第5回教育臨床研究会のご報告と次回のお知らせ

2月14日に第5回教育臨床研究会「特別な教育的支援を考える～学校の支援を支援するサポートブック～」を開きました。当日は地域の保護者の方々や本学研究生の現職教員など計12名が参加され、進学、進級を控えて役立つサポートブックの作成について附属養護学校の例を参考にしながら学習しました。参加者の方からも学校との連携に役立っている例をお話していただいたり、特に中学校等での生かし方について意見交換をしました。今年度の教育臨床研究会は終了しましたが、次年度は5月から開始する予定です。

第2回「教師のための教育相談」連絡会のお知らせ

3月14日(水)16:00~17:00(於 多目的教室)に、昨年度の2月に引き続き第2回「教師のための教育相談」連絡会を開きます。教育相談の実施状況や次年度の予定(山梨県教育委員会との連携「サテライトセンター構想」)について話し合いを持ちたいと思います。年度末でお忙しいとは存じますが、「教師のための教育相談」の相談スタッフの先生方や教育相談事業に関心をお持ちの先生方のご参加をお待ちしております。

これまでのセンターだよりの一部は<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/>で見ることができます。